

日程表

2023年2月18日(土)				
	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場
9:00				
	9:20～ 開会の辞：保田知生 委員長挨拶：森下英理子			
10:00	9:30-10:20 共催セミナーモーニング1 ノボノルディスクファーマ株式会社 止血機構全体をとらえた凝固異常症の止血治療の発展の可能性 座長：天野景裕 演者：野上恵嗣	9:30-10:20 共催セミナーモーニング2 サノフィ株式会社 血友病B治療の現状について 座長：藤井輝久 演者：近澤悠志	9:30-10:20 共催セミナーモーニング3 中外製薬株式会社 Emicizumab and Joint Health ～ AOZORA Study 1st Report ～ 座長：長江千愛 演者：嶋緑倫	
11:00	10:30-12:20 シンポジウム1 DIC 部会 DIC診療ガイドライン(仮)の構想と進捗状況 座長：関義信、山川一馬 演者：河野徳明、関義信、山川一馬、早川峰司、石倉宏恭、山田真也、川崎薫、内場光浩	10:30-12:20 シンポジウム2 血栓素因部会・凝固線溶検査部会(合同) 凝固線溶検査標準化の現状と課題 座長：根木玲子、山崎昌子 演者：家子正祐、内藤澄悦、藤森祐多、大村一将、松田将門、橋口照人	10:30-12:20 シンポジウム3 凝固系/抗凝固療法部会 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症、脳梗塞および凝固波形解析ならびに血小板活性化マーカー 1部 座長：一瀬白帝、松本剛史、川杉和夫、松本智子 演者：橋口照人、小川孔幸、和田英夫、浦井昌俊 2部 座長：岡田靖、長尾毅彦、上塚芳郎 演者：掃部俊貴、内山真一郎、井上克枝	10:30-12:20 シンポジウム4 血友病部会 後天性血友病治療の再考 座長：西田恭治、酒井道生 演者：備後真登、野上恵嗣、鈴木伸明、日笠聡、酒井道生、山崎尚也
12:00				
13:00	12:30-13:20 共催セミナーランチョン1 シスメックス株式会社 抗リン脂質抗体の臨床的意義について 座長：保田晋助 演者：奥健志	12:30-13:20 共催セミナーランチョン2 積水メディカル株式会社 座長：長内宏之 演者：鈴木信也 ※タイトルはプログラムに掲載	12:30-13:20 共催セミナーランチョン3 株式会社LSIメディエンス 各国ガイドラインから見た日本のHIT診療の現状と未来 座長：矢富裕 演者：安本篤史	12:30-13:20 共催セミナーランチョン4 藤本製薬株式会社 血友病のAging問題 ガイドライン作成を目指して 座長：松下正 演者：長尾梓
14:00	13:30-14:50 シンポジウム5 抗リン脂質抗体部会 抗リン脂質抗体検査の現状と課題 座長：野島順三、奥健志 演者：山崎哲、本木由希里、藤枝雄一郎	13:30-14:50 シンポジウム6 VWD/TMA 部会 von Willebrand 病の診断における現状と課題、その解決を目指して 座長：八木秀男、野上恵嗣 演者：日笠聡、長尾梓、古川晶子、荻原建一	13:30-14:50 シンポジウム7 HIT 部会 HIT診療を変える HITの新規診断法 座長：伊藤隆史 演者：宮田茂樹、安本篤史、丸山慶子、小亀浩市	
15:00				14:30-16:10 コーポレートセミナー1 KM バイオロジクス株式会社/ (一社)日本血液製剤機構 先天性血友病インヒビターの止血管理(血友病B症例を中心に) 座長：白幡聡 演者：竹谷英之 後天性血友病Aの出血予防治療 座長：関義信 演者：鈴木伸明
16:00	15:00-16:50 シンポジウム8 静脈血栓症/肺塞栓症部会 欧米ガイドラインと比較した日本国内のVTE予防の状況と相違点 座長：保田知生、杉村基 演者：山本尚人、杉村基、川口龍二、阿部靖之、荻原義人	15:00-16:50 シンポジウム9 血小板部会 「血小板関連疾患の診断、治療」及び「血小板関連製剤による治療」の標準化に向けて 座長：山之内純、横山健次 演者：柏木浩和、内山徹、齋田良知、松原由美子、羽藤高明	15:00-16:50 シンポジウム10 血栓溶解部会 線溶調節機構の破綻と治療標的としての可能性 座長：竹下享典、長尾毅彦 演者：長屋聡美、平野照之、内場光浩、安藤潔	
17:00	17:00-17:50 共催セミナーイブニング1 サノフィ株式会社 Introducing ITAC guideline 2022 update for Cancer Associate Thrombosis 座長：保田知生 演者：Dominique Farge、林裕美	17:00-17:50 共催セミナーイブニング2 アレクシオンファーマ合同会社 TMAとDIC治療方針の異なる血小板減少症 座長：森下英理子 演者：松本雅則	17:00-17:50 共催セミナーイブニング3 武田薬品工業株式会社 血友病診療の最適化を目指して：地域連携と関節評価の取り組み 座長：大森司 演者：康勝好	16:20-17:50 コーポレートセミナー2 CSL ベーリング株式会社 座長：野上恵嗣 血友病診療における遺伝子解析の意義と展望 演者：矢田弘史 血友病の遺伝子変異の診断の意義～ Diversity of hemophilia gene variants/mutations～ 演者：篠澤圭子
18:00	17:55～ 教育講演開会式：保田知生 次期会長挨拶：山之内純 閉会の辞：杉村基			

プログラム

教育講演

1. 領域：止血機能検査

「凝固線溶検査の再考～何をどのように測定し、何がわかるのか～」

演者：涌井 昌俊（慶應義塾大学 医学部 臨床検査医学教室）

2. 領域：血小板

「血小板増多症の診断と治療」

演者：山之内 純（愛媛大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

3. 領域：凝固・線溶系出血疾患

「先天性血友病診療の現況」

演者：酒井 道生（宗像水光会総合病院 小児科）

4. 領域：凝固・線溶系血栓性疾患

「がん関連血栓症の特徴および予防と治療」

演者：向井 幹夫（大阪国際がんセンター成人病ドック科）

5. 領域：DIC/TMA

「DICの診断と治療」

演者：関 義信（新潟大学医歯学総合病院魚沼地域医療教育センター 血液内科）

学術標準化委員会シンポジウム

1. DIC 部会

「DIC 診療ガイドライン(仮)の構想と進捗状況」

座長：関 義信 (新潟大学魚沼地域医療教育センター 血液内科)

山川一馬 (大阪医科薬科大学 救急医学)

1. 造血器腫瘍

河野徳明¹⁾、池添隆之²⁾、川杉和夫³⁾、竹迫直樹⁴⁾

(¹⁾ 宮崎県立病院 血液内科、²⁾ 福島県立医科大学 血液内科、³⁾ 帝京大学 医療技術学部、⁴⁾ 練馬光が丘病院 血液内科)

2. 固形癌

関 義信¹⁾、窓岩清治²⁾、内山俊正³⁾

(¹⁾ 新潟大学魚沼地域医療教育センター 血液内科、²⁾ 東京都済生会中央病院 臨床検査医学科、³⁾ 高崎総合医療センター 臨床検査科)

3. 感染症(敗血症)

山川一馬¹⁾、伊藤隆史²⁾、射場敏明³⁾、丸藤 哲⁴⁾

(¹⁾ 大阪医科薬科大学 救急医学、²⁾ 熊本大学 生体情報解析学、³⁾ 順天堂大学 救急災害医学、⁴⁾ 札幌東徳洲会病院 救急集中治療センター)

4. 外傷

早川峰司¹⁾、阪本雄一郎²⁾、久志本成樹³⁾、江口 豊⁴⁾

(¹⁾ 北海道大学 救急医学、²⁾ 佐賀大学 救急医学、³⁾ 東北大学 外科病態学講座救急医学分野、⁴⁾ 滋賀医科大学 救急集中治療学)

5. 急性膵炎・急性肝不全

石倉宏恭¹⁾、真弓俊彦²⁾、田村利尚³⁾、西尾健治⁴⁾

(¹⁾ 福岡大学 救命救急医学、²⁾ 中京病院 ICU 診療部、³⁾ 産業医科大学 第一外科、⁴⁾ 奈良県立医科大学 総合診療科)

6. 血管異常

山田真也¹⁾、古賀 震²⁾、朝倉英策¹⁾

(¹⁾ 金沢大学附属病院 血液内科、²⁾ SBS 静岡健康増進センター)

7. 産科

川崎 薫¹⁾、清川 晶²⁾

(¹⁾ 近畿大学 産婦人科、²⁾ 倉敷中央病院 産婦人科)

8. 他の基礎疾患

内場光浩¹⁾、松本剛史²⁾

(¹⁾ 熊本大学 輸血・細胞治療部、²⁾ 三重大学 輸血・細胞治療部)

2. 血栓性素因部会・凝固線溶検査部会合同企画

「凝固線溶検査標準化の現状と課題」

座長：(血栓性素因部会)：根木玲子(国立循環器病研究センター ゲノム医療支援部遺伝相談室、産婦人科部)

(凝固線溶検査部会)：山崎昌子(千葉大学大学院医学研究院 人工知能(AI)医学)

<血栓性素因部会>

1. イントロダクション

家子正裕(岩手県立中部病院 血液内科・臨床検査科)

2. AT, PS 標準化の詳細と推奨案

内藤澄悦(北海道医療大学病院 臨床検査部)

3. PC 標準化の問題点と凝固制御因子標準化に関わる啓発活動について

家子正裕(岩手県立中部病院 血液内科・臨床検査科)

4. 質疑応答

<凝固線溶検査部会>

1. DOAC 療法における凝固検査の現状と課題

1) DOAC 服用検体の凝固波形解析

藤森祐多(慶應義塾大学病院 臨床検査技術室)

2) DOAC 療法下での出血リスクの評価と確認試験

大村一将(北海道医療大学 歯学部内科学分野)

3) DOAC の凝固検査への影響

松田将門(福島県立医科大学保健科学部 臨床検査学科)

2. 日本検査血液学会との連携と取組み

橋口照人(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学)

3. 凝固系／抗凝固療法部会

「自己免疫性後天性凝固因子欠乏症、脳梗塞および凝固波形解析ならびに血小板活性化マーカー」

座長：一瀬白帝（山形大学）

松本剛史（三重大学医学部附属病院 輸血・細胞治療部）

川杉和夫（帝京大学 医療技術学部）

松本智子（天理医療大学医療学部 臨床検査学科）

1. 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症、CWA

1) 自己免疫性出血症治療の「均てん化」研究班の紹介

橋口照人（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 血管代謝病態解析学）

2) 自己免疫性凝固第 VIII 因子欠乏症例における結合抗体の経時的解析

小川孔幸（群馬大学医学部附属病院 生体統御内科）

3) CWA による自己免疫性後天性凝固異常症の診断

和田英夫（三重県立総合医療センター）

4) CWA の進歩と課題

涌井昌俊（慶應義塾大学医学部 臨床検査医学）

座長：岡田 靖（九州医療センター 臨床研究センター）

長尾毅彦（日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経内科）

上塚芳郎（内藤病院）

2. 脳梗塞・血小板活性化マーカー、CWA

1) CWA による脳梗塞症例の過凝固状態の診断

掃部俊貴（三重県立総合医療センター 脳神経内科）

2) CLECSTRO 研究の紹介

内山真一郎（国際医療福祉大学 臨床医学研究センター）

3) sCLEC-2 の基礎と新展開

井上克枝（山梨大学大学院総合研究部医学域 臨床検査医学講座）

4. 血友病部会

「後天性血友病治療の再考」

座長：西田恭治（大阪医療センター 血友病科／感染症内科）

酒井道生（宗像水光会総合病院 小児科）

1. 後天性血友病 A の治療アップデート

備後真登（東京医科大学 臨床検査医学分野）

2. エミシズマブの後天性血友病 A への使用に関する文献レビュー

野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）

3. 後天性血友病 A におけるエミシズマブの臨床試験データ

鈴木伸明（名古屋大学 輸血部）

4. 免疫抑制療法が困難な症例におけるエミシズマブの使用

日笠 聡（兵庫医科大学 血液内科）

5. 臨床応用における課題

酒井道生（宗像水光会総合病院 小児科）

6. バイクロットによる定期補充療法を選択する機会はあるのか？

山崎尚也（広島大学 輸血部）

5. 抗リン脂質抗体部会

「抗リン脂質抗体検査の現状と課題」

座長：野島順三（山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学）

奥 健志（北里大学医学部 膠原病・感染内科学）

1. LA 検査における検査前処理の再評価と DOAC 投与患者検体への対応

山崎 哲¹⁾、鈴木典子¹⁾、大谷政樹¹⁾、内藤澄悦²⁾、徳永尚樹³⁾、家子正裕⁴⁾

(¹⁾ 聖マリアンナ医科大学病院 臨床検査部、²⁾ 北海道医療大学 臨床検査部、³⁾ 社会医療法人川島会川島病院 検査室、⁴⁾ 岩手県立中部病院 血液内科／臨床検査科)

2. 日本における新規抗リン脂質抗体価測定試薬の有用性の検討

本木由香里、金重里沙、野島順三

(山口大学大学院医学系研究科 生体情報検査学)

3. SARS-COV2 mRNA ワクチン接種後の抗リン脂質抗体価の変動

藤枝雄一郎、安田充孝、アメンガアル・オルガ、渥美達也

(北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

4. ホスファチジルセリン依存性抗プロトロンビン抗体の「これまで」と「これから」

藤枝雄一郎

(北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室)

6. VWD/TMA 部会

「von Willebrand 病の診断における現状と課題、その解決を目指して」

座長：八木秀男（奈良県総合医療センター 血液腫瘍内科）

野上恵嗣（奈良県立医科大学 小児科）

1. 本邦の VWD 診療のガイドラインのオーバービュー（診断ポイントを含む）

日笠 聡（兵庫医科大学 血液内科）

2. VWD 患者の出血症状の観点から

長尾 梓（荻窪病院 血液凝固科）

3. VWF マルチマー解析と遺伝子検査の観点から

古川晶子（奈良県立医科大学 小児科）

4. Easy-to-use な臨床血液検査による VWD スクリーニングの観点から

荻原建一（奈良県立医科大学 小児科）

7. HIT 部会

「HIT 診療を変える HIT の新規診断法」

座長：伊藤隆史（熊本大学大学院生命科学研究部 生体情報解析学講座）

1. ヘパリン起因性血小板減少症の診断、治療における、血小板活性化能を保持する HIT 抗体検出のための機能的測定法の重要性

宮田茂樹（日本赤十字社血液事業本部 中央血液研究所）

2. 新規免疫学的測定法の利用と本邦における機能的測定法の現状

安本篤史（北海道大学病院 検査・輸血部）

3. 血小板不要の新しい HIT 抗体検出法

丸山慶子、宮田茂樹、小亀浩市

（国立循環器病研究センター 分子病態部）

4. 総合討論

8. 静脈血栓症／肺塞栓症部会

「欧米ガイドラインと比較した日本国内のVTE予防の状況と相違点」

座長：保田知生（星ヶ丘医療センター 循環器外科）

杉村 基（浜松医科大学 産婦人科家庭医療学講座）

1. 本邦における静脈血栓塞栓症予防の現状－欧米のガイドラインと比較して－

山本尚人（浜松医療センター 血管外科）

2. 産科領域における深部静脈血栓・肺塞栓症の予防－欧米と日本のガイドラインの比較

杉村 基（浜松医科大学 産婦人科家庭医療学講座）

3. 婦人科がんにおける静脈血栓塞栓症予防の現状と海外との相違点について

川口龍二（奈良県立医科大学 産婦人科学講座）

4. 整形外科領域のVTE予防 特に骨折症例における欧米との相違と課題

阿部靖之（熊本中央病院 整形外科）

5. ガイドラインからみるVTE予防の欧米との違い

荻原義人（三重大学 循環器・腎臓内科）

9. 血小板部会

「『血小板関連疾患の診断、治療』及び『血小板関連製剤による治療』の標準化に向けて」

座長：山之内純（愛媛大学 輸血・細胞治療部）

横山健次（東海大学医学部附属八王子病院 血液腫瘍内科）

1. 「血小板関連疾患の診断、治療」の標準化に向けて

1) 新たな成人 ITP 診断基準

柏木浩和（大阪大学 血液・腫瘍内科学）

2) 先天性血小板減少症・異常症の網羅的診断法とレジストリの構築

内山 徹（国立成育医療研究センター 成育遺伝研究部 疾患遺伝子構造研究室）

2. 「血小板関連製剤による治療」の標準化に向けて

1) 運動器疾患に対する多血小板血漿（PRP）療法

齋田良知（順天堂大学 整形外科・スポーツ診療科スポーツ医学・再生医療講座）

2) PRP の規格化を目指す取り組み

松原由美子（慶應義塾大学 臨床研究推進センター）

3) HLA 適合血小板の使用ガイドライン

羽藤高明（愛媛県赤十字血液センター）

10. 血栓溶解部会

「線溶調節機構の破綻と治療標的としての可能性」

座長：竹下享典（埼玉医科大学総合医療センター 中央検査部）

長尾毅彦（日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経内科）

1. COVID-19 の病態における線溶異常

長屋聡美、森下英理子

（金沢大学 医薬保健研究域保健学系）

2. 医師主導型臨床試験 T-FLAVOR の現状報告

平野照之（杏林大学 脳卒中医学）

3. 周術期のトラネキサム酸使用の功罪

内場光浩（熊本大学 輸血・細胞治療部）

4. 造血系における PAI-1 の役割

安藤 潔（東海大学医学部 血液・腫瘍内科）

共催セミナー

モーニング1 「止血機構全体をとらえた凝固異常症の止血治療の発展の可能性」

座長：天野景裕 (東京医科大学 臨床検査医学分野)

演者：野上恵嗣 (奈良県立医科大学 小児科)

共催：ノボノルディスクファーマ株式会社

モーニング2 「血友病 B 治療の現状について」

座長：藤井輝久 (広島大学病院 輸血部 血友病診療センター)

演者：近澤悠志 (東京医科大学病院 臨床検査医学科)

共催：サノフィ株式会社

モーニング3 「Emicizumab and Joint Health ～ AOZORA Study 1st Report ～」

座長：長江千愛 (聖マリアンナ医科大学 小児科)

演者：嶋 緑倫 (奈良県立医科大学 血栓止血研究センター)

共催：中外製薬株式会社

ランチョン1 「抗リン脂質抗体の臨床的意義について」

座長：保田晋助 (東京医科歯科大学 膠原病・リウマチ内科)

演者：奥 健志 (北里大学医学部 膠原病・感染症内科)

共催：シスメックス株式会社

ランチョン2

「DOAC 内服患者における凝固検査の臨床応用を考える」

座長：鈴木信也 (公益財団法人心臓血管研究所 循環器内科)

演者：長内宏之 (公立陶生病院 循環器内科)

「DOAC を投与された心房細動患者の凝固マーカー測定

～「ほぼうまくいく」というデータに pitfall はあるか?～」

座長：長内宏之 (公立陶生病院 循環器内科)

演者：鈴木信也 (公益財団法人心臓血管研究所 循環器内科)

共催：積水メディカル株式会社

ランチョン3 「各国ガイドラインから見た日本の HIT 診療の現状と未来」

座長：矢富 裕 (東京大学大学院医学系研究科臨床病態検査医学分野)

演者：安本篤史 (北海道大学病院 検査・輸血部)

共催：株式会社 L S I メディエンス

ランチョン4 「血友病の Aging 問題 ガイドライン作成を目指して」

座長：松下 正 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部 教授)

演者：長尾 梓 (荻窪病院 血液凝固科)

共催：藤本製薬株式会社

イブニング1

座長：保田知生 (星ヶ丘医療センター 循環器外科)

「Introducing ITAC guideline 2022 update for Cancer Associate Thrombosis」

演者：Dominique Farge

「ITAC ガイドライン 2022_update 日本語ポケットガイドと ITACCME_v1.0」

演者：林 裕美 (京都大学)

共催：サノフィ株式会社

イブニング2 「TMA と DIC 治療方針の異なる血小板減少症」

座長：森下英理子 (金沢大学)

演者：松本雅則 (奈良県立医科大学)

共催：アレクシオンファーマ合同会社

イブニング3 「血友病診療の最適化を目指して：地域連携と関節評価の取り組み」

座長：大森 司 (自治医科大学医学部 生化学講座病態生化学部門 教授)

演者：康 勝好 (埼玉県立小児医療センター)

共催：武田薬品工業株式会社

コーポレートセミナー

座長：白幡 聡 (産業医科大学／北九州八幡東病院)

関 義信 (新潟大学医歯学総合病院 魚沼地域医療教育センター 血液内科)

共催：KM バイオロジクス株式会社 / (一社) 日本血液製剤機構

1. 先天性血友病インヒビターの止血管理 (血友病 B 症例を中心に)
竹谷英之 (東京大学医科学研究所附属病院関節外科)
2. 後天性血友病 A の出血予防治療
鈴木伸明 (名古屋大学医学部附属病院 輸血部)

座長：野上恵嗣 (奈良県立医科大学 小児科)

共催：CSL ベーリング株式会社

1. 血友病診療における遺伝子解析の意義と展望
矢田弘史 (独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 血友病科)
2. 血友病の遺伝子変異の診断の意義～ Diversity of hemophilia gene variants/mutations ～
篠澤圭子 (東京医科大学病院 臨床検査医学科)